

資料4 今後の進め方(案)

○ 検討にあたっての基本的な考え方について

① 建設施工の課題の解決に向けて、現状の建設ロボット技術に対するニーズとそれを実現するシーズを把握するための調査・分析を実施する。

例えば、

- ・文献調査、各団体の提言分析
- ・有識者、関係業団体へアンケート、ヒアリング調査

を実施する。

② ①の結果を踏まえ、建設ロボット技術の開発・活用の目標について、検討・整理する。

例えば、

- ・少子高齢化の時代における建設生産システムを支えるための目標
- ・生産性(作業効率)の向上、品質の確保・向上に応えるための目標
- ・大規模災害の緊急復旧対応の向上(施工の合理化)に応えるための目標

について、短期目標、長期目標に分けて検討・整理する。

③ 建設ロボット技術の調査・開発・活用に必要な技術力を維持、発展させるため検討すべき仕組み(制度・基準等)について整理する。

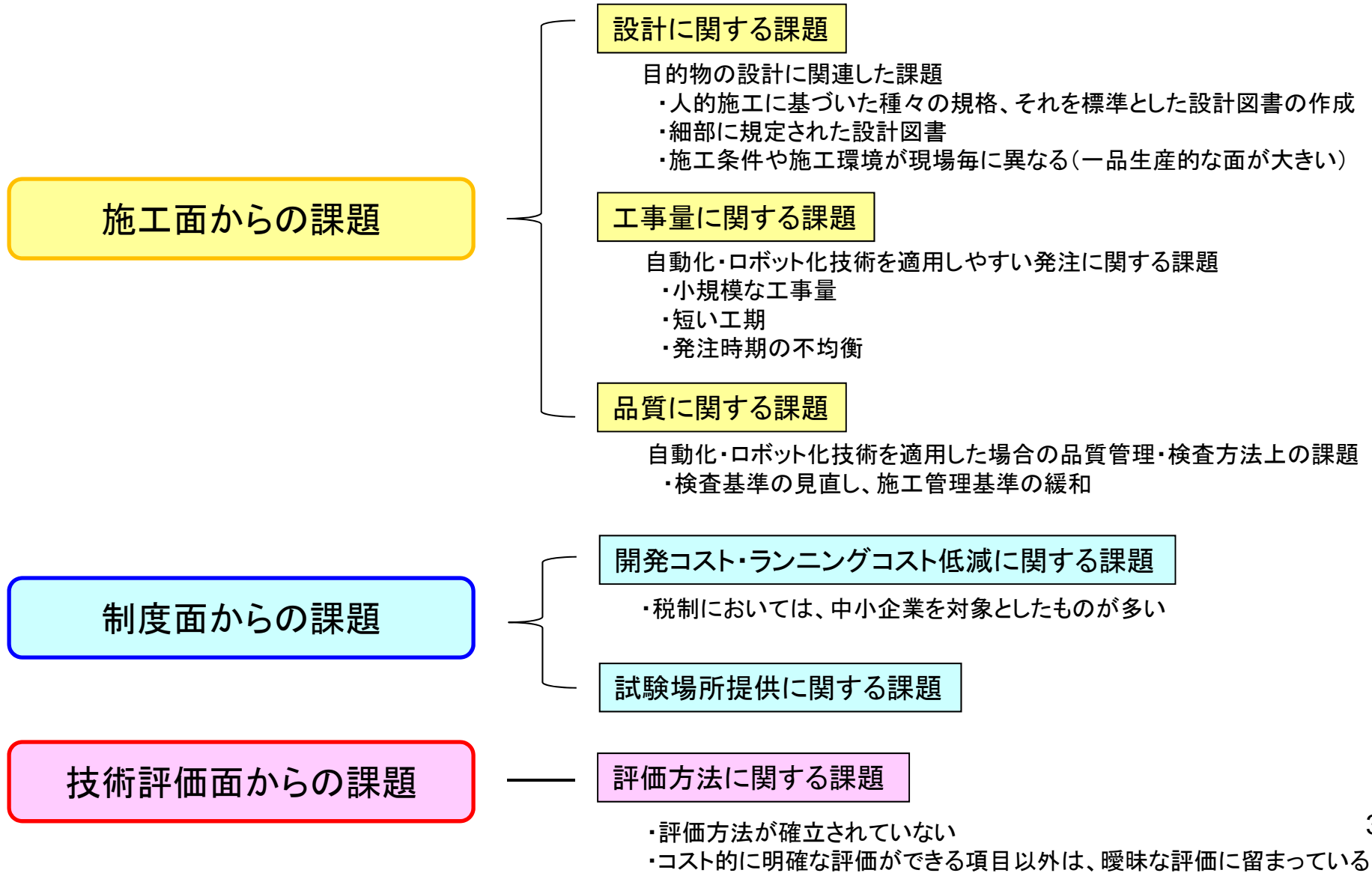
例えば、

- ・建設ロボット技術の調査、開発、活用スキームのあり方
- ・建設ロボット技術を実現する技術者及び技能者の確保・育成のあり方
- ・産学官の役割分担のあり方

を検討する。

(参考)建設ロボット技術のコストに関する課題

OH13.6 土木学会建設用ロボット委員会 研究報告書 「21世紀における建設工事の自動化・ロボット化への展望」より



○各種団体等の『提言』等において指摘されている課題

➤ 土木学会 建設用ロボット委員会「建設用ロボット技術による災害対応および復旧・復興支援に向けた委員会提言」(H24.9)より

- ・建設業従事者の安全確保のため災害復旧・復興作業に建設用ロボットを積極活用することが重要
- ・教育訓練を受けたオペレータが緊急時において効果的に出動できるよう、登録制度や産官学の協力体制を構築・維持する必要
- ・平常時に使用する建設機械に迅速に災害対応機能を付加できる建設用ロボットのプラットフォームの研究開発が必要

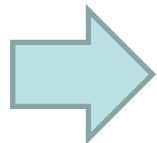
➤ 産業競争力懇談会(COCN)「災害対応ロボットと運用システム」(H24.3)より

[提案の背景・理由]

- ・東日本大震災や今後の災害等におけるロボットのニーズへの対応
- ・災害対応ロボット分野における産業競争力の強化

➤ 「情報化施工推進戦略」～情報化施工の普及に向けた課題と対応方針～(H20.7)より

- ・情報化施工に必要な3次元データ作成における設計業務との連携
- ・総合評価方式における技術提案に対する適正な評価



- 建設ロボット技術に対するニーズとそれを実現するシーズの把握
- 技術の開発・活用の目標の設定
- 技術力の維持・発展のための仕組み